

CAS ソリューションの設計概念 – Self Study

コース概要



e-Learning

このコースでは、CAS(コンテンツ・アドレス・ストレージ)の概要について、設計プロセスへのアプローチとその実施に際して必要不可欠な要素について学習します。また、CAS の設計における考慮事項について、顧客向けの CAS ソリューションの設計時に収集、分析、解釈する必要がある重要なデータに焦点を当てて説明します。CAS の設計の指導と検証において推奨されるベスト・プラクティスについても学習します。このコースは、EMC Proven Professional プログラムのテクノロジー・アーキテクトのトラックにおいて不可欠なコースです。

コース番号:	MR-9WP-CASSDC-JPN		
コースタイプ:	自習教材	所要時間:	2 時間

受講対象者

このコースは、次の業務に携わっている、または今後携わる予定の方を対象としています。

- IT 環境の評価および最適なソリューションの設計
- 正式な評価の配信および設計サービス

受講前提条件となる知識/スキル

このコースの内容を理解し、コースを修了するには、EMC のストレージ・ハードウェア/ソフトウェア製品に関する基礎レベルの知識が必要です。

EMC Proven Professional プログラムのアソシエイト・レベルの認定を受けていること、目的とするトラックのスペシャリスト・レベルを修了していることを前提とします。

学習目標

このコースを受講すると、下記の内容を学ぶことができます。

- 顧客による CAS の使用に関連して収集される重要な技術データの説明
- CAS での技術データの収集方法の説明
- 収集された情報の解釈方法の説明
- 設定するパラメータと CAS を管理および制御するためのツールの説明
- CAS を構成および展開する場合のベスト・プラクティスの説明

モジュールの内容

このコースには、前述のコースの目的をサポートするモジュールが 1 つ含まれています。

実習

このコースには実習はありません。

実力テスト

実力テストでは、学習した知識やスキルを確認します。このコースの受講後にはオンライン・テストがあります。